

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 5 月 20 日 (月)
地区/会場 東大淀小学校区/
東大淀町民会館
参加者数 23 人



《質問・意見》

・ 式年遷宮後の取り組みについて

市長は、伊勢病院を健康の拠点として考えているということだが、病院周辺倉田山の神宮農業館、徴古館、美術館、倭姫等を重点的にクローズアップして、観光に役立てていただきたい。

《回答》

県内各所に倭姫ゆかりのある場所が多いので、ルートマップは良いことだと思っている。倉田山の神宮農業館、徴古館、美術館等は、大事な歴史財産であるので、クローズアップしていくのはありがたいと思う。「倭姫」をキーワードにした歴史財産が各所にあるので、もう一度磨き直すことは重要です。

2年後の合併 10 周年に向けて、各地域にある歴史財産を浮き彫りにしてみんなで共有できる仕組みを作っていきたい。また、伊勢市史の活用も図っていきたい。

《質問・意見》

伊勢市は観光立国であり、観光で財政を潤すべきである。中核となるのは伊勢神宮である。伊勢市と周辺観光ルートが変化してきている。外から見た伊勢市の魅力を発掘する努力が必要であり、観光者のニーズにあったルートを開拓し、提供してほしい。

リゾート地は、観光収益率が高くなる。リゾート的に楽しむことができるシステムを考えてほしいと思う。

《回答》

「CAN ばす」のバージョンアップとして、二見や朝熊も周れる周遊ルートを増設している。次の御遷宮を目指し、楽しんでもらえるためにはどのような観光ルートを造るべきかを進めていきたい。

今回のお白石持ち行事での一日神領民募集への参加者が多数集まったように、外の目から見れば、もっと違う可能性があると考えている。

《質問・意見》

この地域は、津波マップで4～6mの被害想定になっているため、不動産業界での評価はほぼ0円となっており、市の固定資産税評価額と隔たりがあるため、考慮してもらえないのか。また、町所有の固定資産への補助等はありませんか。

《回答》

たくさんの方からこのような話は聞いていますが、他方では事業者が財産を担保としている場合もあります。固定資産税評価額の変動は、事業者の資産価値増減につながる事となるため、非常に難しい問題と考えています。なお、町所有施設の場合は、使用方法等により減免できる場合がありますので、一度課税課に相談願いたい。

《質問・意見》

東大淀小学校が避難場所となっており、屋外階段が設置されている。訓練時は問題なく使用できるが、災害時は混雑することが考えられるため、階段が1箇所で大丈夫なのか心配である。

《回答》

24年度に14の小学校それぞれに避難階段1箇所を設置している。東大淀小学校にも屋外階段を設置している。災害時には、学校の内部階段も利用していただけるように学校の壁に鍵ボックスを設置している。今後は、避難訓練等で地域の方と一緒に課題への対策を進めていきたい。

《質問・意見》

現在の小学校が避難場所となっているが、今後の学校統合により学校が移転した場合でも現校舎を避難場所として管理していく予定なのか。

《回答》

統廃合した後の施設を地元で利用したいという声を他の地域でも多く頂いている。避難場所としての利用だけでなく、施設の活用方法を地域の方々に意見をまとめて、提案していただきたい。